

議員定数に関する市民と議会の意見交換会記録

Aグループ	留萌建設業協会 留萌金融協会 (社)留萌地域人材開発センター運営協会 留萌市校長会 留萌市民生児童委員連絡協議会 留萌市老人クラブ連合会 留萌ロータリークラブ NPO法人留萌市文化会議	会長 会長 事業課主任 事務局長 理事 事務局長 会長 理事	田下啓一（リーダー） 福島 茂 丸山隆行 堀井 理 佐々木武司 兜 克己 大嶋孝広 角谷亨仙
担当議員	司会 小 野 敏 雄 議員 記録 戸 水 美保子 議員 米 倉 靖 夫 議員		

① 議会活動について

- ・ 議会活動をどう考えられているか。
- ・ 議員：広報で議員の活動を、議会広報やかわら版で伝えて、皆さんに知ってもらえるようにしている。ある程度はお伝えしているが、何やっているか分からないと思われている面がある。
- ・ 議会を3回くらい、傍聴に行ったことがあるが、「(議員は)一般社会で働く人より楽だなあ」と感じた。昼は1時間休みはあるし。大変なこともあるのだろうけれど。
- ・ 体力的には楽かもしれない。稼働日数、稼働時間で考えると、空き時間が多いのかなと思う。
- ・ これが一番いいという定数は分かりにくい。決めた段階で、定数を絞るとき、仕事そのものも市民の求める仕事そのもの変わってきている。町内会や産業分野からでることもあるし、留萌市の産業の構造から得意分野も求められる。商業とか。穴埋めも必要。我々市民が議会に求めるものとしては成熟した話し合いを求める。定数は決めてかかるしか先には進めないのではないのではないか。
- ・ (議員としては)減らしたいのか、増やしたいのか？
- ・ 議員：適正な数はどうかというか。チェック機能を減らしても、財政の問題に取り組むのかや人口減少のことを考えるのか。
- ・ チェック機能をきちっと果たすには、数は何人必要なのか。
- ・ 外から見て事務量・仕事量がわからない。民間は一定の仕事量・仕事で人数が出てくる。議員さんの活動を(議会が)適正と言われると、はて、我々はどこで測るのか。
- ・ 学校の場合、児童数で職員の人数が決まる。議会の適正人数は分からない。例えば人口減ということで、議員を減らしたとしたら、1人減ったら何ができなくなるのか。具体的に示していただかないと分からない。15人・14人になってどうなるのか。
- ・ 議員報酬は留萌市の平均収入の倍あるが。(見ていた数字が違っていた模様)

- ・議員：そんなにないですよ。
- ・ 仕事がわからないから人口対比で1人減らしてという話になる。どれだけ減らしたらいいのか、一般的には分からない。
- ・ 広報には出ているが、一般の人にはあまり読まれていない。自分も興味あるところしか目がいけない。宣伝の仕方が下手だと言われるとそういうところもある。
- ・ 聴く側の問題もある。
- ・議員：専門に仕組みを理解して、やる。そういうことを議論する委員会があって担当することが教育・福祉・健康・公共施設などジャンルと分かれているが、市の仕事を二つに分けて二つの委員会でそれぞれチェックをしている。8人位でしている。目安といえば目安になる。
- ・ 本当は10人なのか、16人なのか。16人か13人が正解なのか。ポツとこの場に来て分からない。我々は分からない。
- ・ (野球の)9人の周りに、囲む人がいる。それと同じように、選手だけでないところをどうやってどう補うか。専門家の意見を聴くということがあっていい。意見を言える人を何人も呼んで入れてやる。
- ・ 数にはメリットとデメリットがあるのを教えてもらわないと。個人の能力・資質に依るところもある。
- ・ 議会がない日、(100日稼いだら)年間の残った日は何をしているのか。
- ・議員：これは公式の数で自分たちで調べたり、そのほかに色々な活動がある。
- ・ 議員は勉強せ、365日そういうことに使えということでしょ。人口からか、経費か、それだけでいくと今度、資質の問題がでてくる。
- ・議員：市民の意見を反映するというとある程度の人数となるが、経費、財政の問題もある。

② 議員活動について

- ・ これまで、定数の変遷はどうなっているか。
- ・議員：19年に20人から16人になった。今度したら12年ぶりの改革になる。
- ・ 給料が490万、多いか少ないか分からない。正直、今、言われても分からない。だから、人口が減ったから、1~2人いいんじゃないかという話になる。
- ・ どれだけ人数が減るのか、増やすのか。多ければチェックが出来るということであれば、一人増やしても。増やすこともありうる。
- ・ 聞いた話では、一般質問を全員がやっているのは聞いたことがない。何かまわり順番だという話もある。
- ・議員：議員それぞれの考えでやっている。16人必ずやりなさいとはなっていない。
- ・議員：議会の活動のPR不足もある。議会活動の中心は普段の委員会で議論している。どれだけ議論できているかということだが、そういう所は公開していないので、そう思われても仕方ないところはあると思う。
- ・ 議員の活動の様子を広報で知らせてもらっているが、一般の人は議員がどういう活動をしているのか知らない。議員が何やってきて何が適正定数なのか、分からない。先日、近隣の自治体では定数を4人減らした。(議員は)一年間の活動内容を示して、それに対する

成果こうなりましたというものが欲しい。自分の質問のあと行政がどう対応したかお知らせしていない。

- ・ 芽室町の広報は素晴らしい。
- ・ 議員：留萌は広報を議員で作っている。ただ、議員が質問したことを行政がどう対応してどうなっているか、お伝えしていない。
- ・ 議員グループはあるのか。例えば昭和63年のグループはすごいなとか、どこぞの町の議員はすごいなとか。例えば、定数のことを考えるとき、野球は9人、この数でやるしかない。全体のイメージとして、市民はギャラリー・応援団。スタープレイヤーも必要だ。（そうでないと）興味のない人に理解してもらうのは至難の技だと思う。

③ 議員定数について

- ・ 人口減や最低限の人数はと考えると、議員定数についての意見を。
- ・ 議員：市民の意見を反映させるためには、定数をどうすればよいかという視点で。
- ・ 財政のことを考えれば、減らして、人口に関して考えればどうなのか。
- ・ 今は最低限の人数ではないか。ある会合で前市長がそう言っていた。
- ・ 比較のしようがないから、人口で考えてしまう。
- ・ 議員：議員活動・議会活動を理解してもらっていないから、どうしてもそう考えることになるのでは。
- ・ アンケートの結果をみたら、なかなか面白い。
- ・ 議員：減らせと。
- ・ 留萌市は人口減で産業もない。若い人いないし年寄りばかりで。議員さんが仕事を持ってきてくれれば…増やしてもいい。市の財政が黒字になるように稼いでもらえれば。議員を増やして、皆にこにこしていただける。若い人がいない。
- ・ 議員：高校を卒業しても地元で就職したくても雇用がないとなれば出て行ってしまうので非常に悲しいですね。
- ・ 議会として市民の皆さんと意見交換会をするようにしているが、出席者が少なく実効性が上がっていない。やっぱり見えてない。

④ まとめ

代表的な意見としては、市議会として定数をどう考えているかというところが基本 だが、チェック機能を果たすためには最低限の人数が必要だ。

議員一人当たりの業務量を外にだして貰えれば、積み上げていくと人数が出てくる。広報で議会活動を発表されているがなかなか読まれてない。

活動に対しての対応が外に広がっていない。

報酬が果たして高いのか安いのかそういう面が見えにくい。